

令和7年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区東蒲中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・全学年において、目標値に近いもしくは上回った。
- ・「話すこと・聞くこと」については、全学年で目標値を上回った。

(2) 課題

- ・「言葉の特徴」や「我が国の言語文化」の項目では目標値を下回った。
- ・「文章を書く」問題では、2割程度の生徒が無回答であった。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和7年度結果	令和6年度結果	令和5年度結果
第1学年	総合で1.8ポイント目標値を上回った。領域別では「情報の扱い方」「話すこと・聞くこと」で目標値を上回った。一方で「言葉の特徴」では4ポイント下回った。		
第2学年	総合で3.4ポイント目標値を上回った。領域別では、全ての項目で目標値を上回ったが、説明的な文章の読み取りでは、目標値を2.6ポイント下回った。	全体的に目標値を上回る結果であるが、インタビューの聞き取りと文法・語句に関する項目について、目標値をやや下回っている。 (第1学年時)	
第3学年	総合で0.1ポイント下回った。領域別では「言葉の特徴や使い方」「言葉に関する事項」「話すこと・聞くこと」で目標値を上回った。一方で「我が国の言語文化」では目標値を10ポイント下回った。	全体的に目標値を上回ったが、「我が国の言語文化に関する事項」「書くこと」は目標値を大きく下回っている。 (第2学年時)	(1)小学校で学習する漢字が定着していない。 (2)熟語の成り立ちについての知識が定着していない。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「インタビューの聞き取り」と「漢字を読む」では目標値を上回った。一方で、「漢字を書く」が9.3ポイント下回った。	読み取りで「説明的な文章」では15.1ポイント、「文学的な文章」では5.3ポイント目標値を上回った。一方で、「文章を書く」では、7.6ポイント目標値を下回った。	「文章を書く」問題では学年の21パーセントが「無回答」である。書けないから書かない生徒もいるが、そもそも書く意欲がない生徒も一定数いると考える。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値を3ポイント上回っているが、「漢字を書く」については、正答率が6割以下に止まっている。	目標値を3.7ポイント上回っているが、説明的文章の読み取りについては、2.6ポイント下回っている。	全体的に無回答の生徒も少なく、意欲的に問題に取り組もうとする姿が見られる。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「漢字を読む」では目標値を8.9パーセント、「漢字を書く」では3.5パーセント上回っている。一方で、「文法語句」(古典や類義語)では6.9パーセント目標値を下回った。	読み取りで「説明的な文章」では6.9ポイント、「文学的な文章」では1.6ポイント下回った。	授業に対する姿勢が昨年度よりも向上している。一方で「文章を書く」問題では学年の20パーセントが「無回答」であることから、問題に対して諦めしまう姿勢も伺える。

3 授業改善のポイント(観点別)

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「漢字を書く」力を育むために、毎授業で漢字を書く練習を授業冒頭の5分間取り組ませる。また、小テストも実施し定着を図る。	「書く」力を育むためにノート作業を十分に行い、自分の考えを書く練習を積み重ねていく。書くことが苦手な生徒に対しては手本を示し、真似させたり写させたりしながら段階を踏んで指導していく。	自ら進んで学習する姿勢を育てていくために、「わかる授業」「楽しい授業」を行い、主体的に取り組む態度を育てていく。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
漢字テストを毎授業で実施し、書き取りの力の定着を図る。また、日常的に漢字を使用するよう声を掛ける。	説明的文章の読み取る力を向上させるため、様々な説明的文章の読解演習を行う。	目標を明確にし、課題を提示することで、意欲的かつ自主的に学習に取り組めるようにする。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
古典を読むことが苦手な生徒が多いため、まずは音読を中心に文章をすらすら読めるようになるまで練習する。そして、「歴史的仮名遣い」等の知識は復習問題を入れて繰り返し扱っていく。	「文章の構成や論理の展開」に課題があるため、教科書教材で指導したことを、他の類似した文章で指導していくことで習熟を図る。	自ら進んで学習する姿勢を育てていくために、生徒自らが課題や学習方法を選択できる授業を行い、主体的に取り組む態度を育てていく。